



ことわざや慣用句を知る、そして使うことから

3,4年生の国語では、ことわざや慣用句、故事成語などの長い間使われてきた言葉を知り、使うことが学習指導要領に示されています。これらを会話や文章にうまく取り入れると、話がおもしろくなったりイメージを膨らませたりできるなど、効果的だと考えます。

「逢うは別れの始め」、「阿吽の呼吸」、「青菜に塩」、「明日は我が身」、「雨降って地固まる」、「案ずるより産むが易し」などに共通することは何だと思えますか？答えは、すべて“ア”から始まることわざ・慣用句で、これらはほんの一部です。辞書には、その数4万以上と言われます。この中には、知っていることわざやほとんど耳にしなくなったことわざなどがたくさんあります。

こうしたことわざ等を知ると、人生の知恵や人情の機微が圧縮されていて見事であることに気づきます。ただ、昔から伝わる言葉ですので、古い！と言わざるを得ないものも多くあります。つまり、相手に通じないものもあるかもしれません。

私たち教員は、よく「下駄箱」という言葉を使ってしまいます。おたよりなどに見つけると、真っ先に赤ペンを入れるのですが、「下駄」を履いて登下校する子はいませんよね。にもかかわらず、これまでの習慣から「下駄箱」と言ってしまいます。やはり、「靴箱」「下足箱」が無難です。

ですから、「下駄を預ける」と言われてもピンとこない人の方が多くなっていると思います。ましてや、江戸時代に博打打ちが十手を預かり、同じ博徒を取り締まる捕吏を兼ねていたことから生まれたという「二足の草鞋(わらじ)」と言われても???

ほかに、糠床(ぬかど)で漬物を作る家庭が珍しくなった現在では「糠に釘」ってイメージできないかもしれません。同じようなものに「藪(やぶ)から棒」、「子は鎧(かすがい)」、「針の筵(むしろ)」、「濡れ手に粟(あわ)」、「鎚(しのぎ)を削る」などあるように思われます。

そういう私も、二人目の子どもが産まれてすぐ、人から「一姫二太郎でよかったね」と言われて、「女1人男2人の3人兄弟姉妹じゃないのに？」と思ったことを思い出します。子を持つには最初は育てやすい女の子で、次は男の子がよいという意味であることを知ったのは、それからしばらくしてからのことでした。

そこで、本校の教職員の実態が知りたくなり、簡単なアンケートを実施しました。結論から言うと、傍線部分のイメージや慣用句の意味については、年代による大きな差異は見られませんでした。違いが顕著だったのは「筵」くらいで、年代が上がるにしたがって知っている割合が増えています。

慣用句やことわざの中には、世の中が変化することで、意味が変わってきたものもあるようです。例えば、「犬も歩けば棒に当たる」はもともと、“でしゃばるとひどい目にあう”ことを意味していたそうですが、今では、“何かをやっているだけで意外な幸運に出会う”というように意味が反転しています。

こうした中に、聞きなれない言葉があった場合は、意味をきちんと調べてみることを子どもたちには勧めたいと思います。そして、意識して使ってみることで理解が深まるのではないかと考えます。もしかすると、結構大切な教えがいっぱいあることに気づくかもしれません。

夕方暗くなるのが早くなってきました。ゲームやYouTubeばかりでなく、様々な本や文章にふれて、ことわざや慣用句なども含めた語彙(ごい・ボキャブラリー)を増やしていくことが、コミュニケーションを円滑にする第一歩かもしれません。





今月の生活目標

すすんで掃除をしよう



3	火	6年高谷中学校参観	12	木	6年都内見学、3年市川南高による書き初め指導
4	水	朝会、なのはな応援集会、委員会活動	16	月	外国語授業研究会、1年人権教室
5	木	3年人権教室、市川市こども作品展(~8日)	17	火	3年歴博&消防署見学、給食試食会
6	金	PTA理事会、義務教育学校保護者説明会	19	木	大掃除(校内清掃日)
7	土	合同学習発表会(I&Iホール)	20	金	短縮5校時日課、給食最終日
9	月	なのはな学級振替休業日 5校時日課&個人面談(~13日)	23	月	冬休みを迎える会 冬季休業(12/24~1/5)
11	水	第4回学校運営協議会(ブロック合同開催)	26	木	管弦楽フェスティバル(市川市文化会館)



16日のふれあいフェスティバルでは、たくさんの方々にお世話になりました。子どもたちのマナーや挨拶はいかがでしたか？今後よろしくお願いいたします。

お知らせ

- (1) 合同学習発表会
後半の部は 12:55 開会
なのはなは 13:48 出演
- (2) 管弦楽フェスティバル
吹奏楽部は 12:10 演奏予定
- (3) 義務教育学校に関するブロック説明会
 - ①高谷中会場 17:30~ ※どちらでも参加
②信篤小会場 10:30~ できます



両日ともに参加できない場合、12/9以降に事務室にお声かけいただければ、資料をお渡しいたします。

本の醍醐味

阿部くん(中二)

本の醍醐味は
2回目に読むときだと思う
2回目の方が落ちついて読めるし
色々な所に目を向けられる
2回目を読むと
大抵3回目も読んでしまう
やっぱり3回目の方がおもしろい